

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域食文化による地産地消推進事業
事業主体 (連絡先)	株式会社南信州観光公社 0265-28-1747
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	811,660 円

事業内容

宿泊飲食施設における地産地消度を高め、観光客の顧客満足度を高める。そのために、生産者と旅館飲食施設を結ぶ中間組織(Jみなみ信州と連携)を創り、宿泊飲食施設の食材ニーズと農業生産のコーディネートを開始した。さらにその機運を醸成するため、観光における食文化の役割にフォーカスした講演会を開催。宿泊施設の地産地消コンサルティングを行う。また、地産地消の度合いを認証する地域基準の創設について検討を進めた。



【地域食文化観光推進研修会】

事業効果

- ①講演会、コンサルティングにより宿泊飲食施設の地産地消機運を醸成した。
- ②市内ホテルとJ Aみなみ信州、飯田市農業課と連携して、地産地消のコーディネートを開始した。
- ③食の認証基準については、南信州観光公社、J Aみなみ信州、飯田市農業課、市内ホテルの協議テーブルにのせ、議論を開始した。

<b>【目標・ねらい】</b>
①宿泊飲食店の地産地消度を高める。
②コーディネート組織を創設する。
③食の地域認証基準を運用する。

<b>※自己評価【A】</b>
<b>【理由】</b> 宿泊飲食施設と生産者を結ぶコーディネート組織が始動し、調理部門と生産者の連携が始まった。また、農業団体、行政、地域連携D MOの協働の作風が生まれた。

今後の取り組み

- 旅館ホテルと生産者を結ぶ中間コーディネート組織へ参加する旅館・ホテル・飲食店(食育の店)の拡大を図る。
- コーディネート組織を核とした地産地消推進協議会(仮称)を令和2年度中に創設する。
- 食の地産地消認証基準の議論を進め、令和2年度中に運用を開始する。
- 地域内の経済循環を高め、農家所得の向上、顧客満足度の向上を図る。